



第2章 MAX II/V対応! Windows10で動作する無償版

[準備2] パソコンに回路開発ツールをセットアップする

使用する開発ツールは、インテル社の「Quartus Prime Lite」です。MAX II/Vに対応したWindows 10で動作する無料の開発ツールです。

非常に大規模なツールですので、使うパソコンにはかなりの性能が要求されます。できればCPUは3GHz以上、メモリは16Gバイト以上、ハードディスクでも問題ありませんが、SSD(Solid State Drive)を使ったパソコンがお勧めです。

本章では開発ツールの入手からWindowsパソコンへのインストール、プロジェクトの作成方法までの手順を説明します。

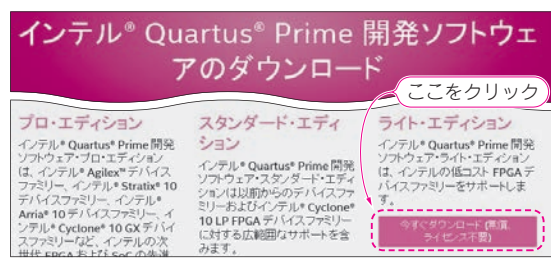


図1 開発ツールQuartus Primeはライト・エディション版をダウンロードする
インテル社のダウンロード・サイトのトップ・ページ(<https://www.intel.co.jp/content/www/jp/ja/software/programmable/quartus-prime/download.html>)

STEP1: 開発ツールの入手とインストール

● 手順1: ダウンロードする開発ツールを入手する
ブラウザで「Quartus Prime Lite」で検索して、下記URLのインテルのダウンロード・サイト(図1)を開きます。

<https://www.intel.co.jp/content/www/jp/ja/software/programmable/quartus-prime/download.html>

図1に示すように、ライト・エディションのダウンロードのボタンをクリックします。最初だけサインインを求められ、メール・アドレスとパスワードを設定します。これで図2のダウンロード・ページに移動します。ページの入力手順は次の通りです。

- (1) バージョン18.1を選択します。最新のV19.1には無償版がありません。
- (2) オペレーティング・システムはWindowsを選

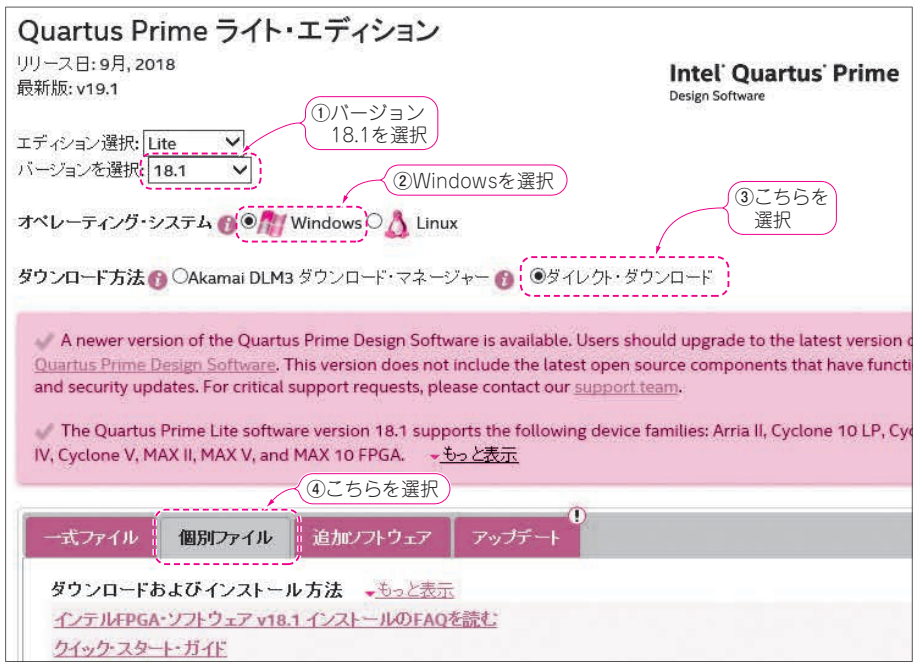


図2 Quartus Prime ライト・エディション版のダウンロード・ファイルは、バージョン18.1, Windows用ものを選択する
Quartus Prime ライト・エディション版のダウンロード・ページ

【セミナー案内】[実習セミナー] 実習・CMOSイメージ・センサの性能評価、画像処理の基
本を体験
— 性能の本質を理解し、画像データ処理の初歩を身につける
【講師】 米本 和也 氏, 12/7(土) 27,000円(税込み), <https://seminar.cqpub.co.jp/>